

新春労使共同セミナー・交流会



政・労・使の代表による鏡開き

1月21日、前橋テルサにおいて、2014新春・労使共同セミナーと交流会を（一社）群馬県経営者協会と共同で開催し、来賓・企業・労組などから410名が参加しました。

経営者協会と連合が共同で新春を祝う行事を開催することは、全国でも稀ですが、群馬では新春の幕開けとして、労使で共通の話題をテーマに講師を招いてセミナーを開催しており、本年度12回目を迎えます。

第1部のセミナーは、タレントでアナウンサーでもある有賀さつきさんを講師に迎え、「夢への挑戦～苦手なものに生きるヒントがある～」と題した講演を行いました。

有賀さんは、子ども時代に過ごしたアメリカで言葉の壁にぶつかり孤独を経験しましたが、「自分の人生なんだから嫌なことでもやってみよう」と前向きに取り組んだことで、「人前で話すことが苦手だった自分が、アナウンサーになった」と当時を振り返り、「苦手なこと、嫌なことでも逃げずに行動すれば、チャンスは巡ってくる」と語りました。

第2部の交流会は、県内の政労使が一堂に会した新春の交流を行いました。東日本大震災復興支援として、岩手・宮城・福島の郷土料理や障がい者就労支援事業で製造している保存食を取り入れました。

景況感を反映したのか経営者の方々の参加が昨年より増加し、有意義な情報交換の場となりました。



苦手なことへチャレンジと語りかける有賀さん

体験学習“男女平等を考える”

12月15日、前橋市総合福祉会館で青年・女性委員会合同行事を開催し、36名が参加しました。

今回は、男女が協力合せて仕事と家庭を両立させていくための体験学習として、妊婦体験、調理実習、グループ討議を行いました。

妊婦体験では、実際に体験用のジャケットを身につけ、歩く、椅子に座る、床に落ちた物を拾うなどの日常的な動作を体験しました。男性からは「思った以上に動きにくく、かがむこともできない」といった感想がありました。

調理実習では、おにぎりや味噌汁、餃子をグループに分かれて調理し、男女ともにネギを刻んだり、餃子を包んだり各グループで協力しあい、出来た物を食べながら交流しました。

女性から「一人で作るより一緒に作る方が楽しい」との声が出ると男性からは「作ってもらうありがたみが分かった」などと感想を交えながらの食事になりました。



慣れない包丁に苦戦しながらの料理

グループ討議では、体験して感じたことを通して、これからの男女平等社会の姿について話し合い、「今日、体験して感じたことを一人でも多くの人に伝えていきたい」「今後もこういった行事を続けて欲しい」との声が上がりました。

群馬高退連第21回総会

11月26日、高齢・退職者団体連合は第21回総会を開催し、17組織より74名が参加しました。

活動・決算報告ならびに新年度活動方針・予算・役員体制が確認されました。

終了後の学習会では、手島税理士より知ってきたい贈与税と相続税について講義を受けました。



連合群馬議員懇の総会を開催!

12月14日、連合群馬議員懇談会は第24回総会を開催し、議員懇・産別・地協から85名が参加し、連合群馬の政策実現および統一自治体選挙に向けた地域基盤の強化を柱とした活動方針を確認しました。

議員懇塚原代表を先頭に、議員懇活動ならびに連合群馬との連携をさらに強めることを共有しました。

総会の前段では、前橋市の「公契約条例」(先事例)の取り組みの共有と、県および各自治体への広がりに向け取り組むことを確認しました。



塚原県議